

# 平成29年4月 全国百貨店売上高概況

平成29年5月23日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,527億円余
2. 前年同月比	0.7% (店舗数調整後/14か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	80社 229店 (平成29年3月対比-2店)
4. 総店舗面積	5,723,794㎡ (前年同月比:-4.0%)
5. 総従業員数	73,110人 (前年同月比:-4.3%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	9-11月 -3.7%、10-12月 -2.5%、11-1月 -1.8%、 12-2月 -1.5%、1-3月 -1.2%、2-4月 -0.6%

[参考] 平成28年4月の売上高増減率は-3.8% (店舗数調整後)

### 【特徴】

4月の売上高は0.7%増と14か月ぶりにプラスに転じた。円安株高によるストック効果で高額消費に一段弾みがついたほか、集客・販促施策の積極展開などが奏功した。

顧客別では、国内市場(シェア95.1%)が0.2%減とほぼ前年並みを確保。インバウンド売上(シェア4.9%)は221億円と過去最高額を更新し、5か月連続プラス(22.9%増)となった。

地区別では、大都市(10都市)の6地区(札幌、仙台、横浜、大阪、神戸、福岡)が対前年増を記録し、10都市計で0.6%増と2か月連続のプラスとなった。一方、地方(10都市以外の地区)においても5地区(関東、中部、中国、四国、九州)が前年実績を上回ったことで、0.9%増と大都市以上の伸びを見せ18か月ぶりにプラス転換した。復調傾向が徐々に広がってきた。

商品別では、主力の春物衣料が気温上昇に伴って動き始め、1.2%減と前月の伸び率から3.4ポイント改善し復調の兆しを見せている。雑貨は、長期にわたり好調な化粧品(15.2%増/25か月連続プラス)が更に増勢を強めたことに加え、輸入時計を中心に高額商材(美術・宝飾・貴金属/1.1%増/14か月ぶりプラス)も前年クリアしたことで7.2%増と5か月連続でプラスとなった。デイリー商材の食料品も0.4%増と14か月ぶりにプラスに転じた。入店客数の伸びが好結果に反映したほか、花見需要による惣菜・菓子の好調さなども押し上げ要因となっている。

3回目のプレミアムフライデーは、GW前半の観光・帰省需要とも相俟って、食品や旅行用品などに動きが見られた。

### 【要因】

(1) 天候：気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過したことから天気は数日の周期で変わった。北・東日本太平洋側、西日本では高気圧に覆われやすく月間日照時間が多かったが、西日本では降水量が多く、中旬には本州付近で暴風や大雨となった所があった。また、北・西日本では気温が高く、全国的に気温の変動が大きかった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日( " ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数131店舗)

①増加した：51店、②変化なし：42店、③減少した：38店

(5) 4月歳時記(春物商戦、GW)の売上(同上/有効回答数94店舗)

①増加した：16店、②変化なし：57店、③減少した：21店

## 全国百貨店 売上高速報 2017年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>452,759,651</b>	<b>100.0</b>	<b>0.7 ( -0.2)</b>
<b>10都市</b>	<b>313,269,603</b>	<b>69.2</b>	<b>0.6 ( 0.4)</b>
札幌	11,564,770	2.6	5.4
仙台	6,087,879	1.3	1.3 ( -6.4)
東京	124,843,368	27.6	-0.8
横浜	27,479,859	6.1	1.3
名古屋	27,995,139	6.2	-2.5
京都	18,588,167	4.1	-0.7
大阪	60,819,886	13.4	3.9
神戸	11,746,810	2.6	0.3
広島	9,228,813	2.0	-1.7
福岡	14,914,912	3.3	4.5
<b>10都市以外の地区</b>	<b>139,490,048</b>	<b>30.8</b>	<b>0.9 ( -1.6)</b>
北海道	1,285,371	0.3	-6.5 ( -39.8)
東北	7,096,610	1.6	-2.9
関東	62,569,846	13.8	0.1 ( -4.1)
中部	11,200,595	2.5	0.6
近畿	18,200,594	4.0	-5.6
中国	10,206,736	2.3	0.6
四国	7,329,785	1.6	0.5
九州	21,600,511	4.8	12.5

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>452,759,651</b>	<b>100.0</b>	<b>0.7 ( -0.2)</b>
紳士服・洋品	32,068,150	7.1	-0.7 ( -1.4)
婦人服・洋品	94,284,782	20.8	-1.7 ( -2.7)
子供服・洋品	14,855,631	3.3	1.6 ( -0.2)
その他衣料品	9,833,801	2.2	-2.5 ( -3.4)
<b>衣 料 品</b>	<b>151,042,364</b>	<b>33.4</b>	<b>-1.2 ( -2.2)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>60,966,540</b>	<b>13.5</b>	<b>0.7 ( -0.1)</b>
化粧品	39,434,854	8.7	15.2 ( 14.4)
美術・宝飾・貴金属	25,833,171	5.7	1.1 ( 0.2)
その他雑貨	18,160,570	4.0	0.8 ( 0.0)
<b>雑 貨</b>	<b>83,428,595</b>	<b>18.4</b>	<b>7.2 ( 6.4)</b>
家具	4,951,390	1.1	-1.7 ( -2.5)
家電	968,242	0.2	-6.7 ( -6.7)
その他家庭用品	14,328,157	3.2	-7.3 ( -7.9)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>20,247,789</b>	<b>4.5</b>	<b>-6.0 ( -6.6)</b>
生 鮮 食 品	22,145,620	4.9	-1.9 ( -3.0)
菓 子	29,019,987	6.4	1.6 ( 0.7)
惣 菜	26,670,246	5.9	1.7 ( 1.1)
その他食料品	31,768,992	7.0	-0.2 ( -1.3)
<b>食 料 品</b>	<b>109,604,845</b>	<b>24.2</b>	<b>0.4 ( -0.5)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>12,389,615</b>	<b>2.7</b>	<b>0.3 ( -0.6)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>5,452,965</b>	<b>1.2</b>	<b>-0.3 ( -2.4)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>9,626,938</b>	<b>2.1</b>	<b>-1.4 ( -1.9)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>10,315,685</b>	<b>2.3</b>	<b>-5.5 ( -6.2)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.6% (店舗数調整後／2か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	0.9% (店舗数調整後／18か月ぶりプラス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>	<b>2か月連続プラス</b>
札幌	5.4	0.1	4か月連続プラス
仙台	1.3	0.0	2か月連続プラス
東京	-0.8	-0.2	9か月連続マイナス
横浜	1.3	0.1	16か月ぶりプラス
名古屋	-2.5	-0.2	3か月ぶりマイナス
京都	-0.7	0.0	13か月連続マイナス
大阪	3.9	0.5	4か月連続プラス
神戸	0.3	0.0	9か月ぶりプラス
広島	-1.7	0.0	7か月連続マイナス
福岡	4.5	0.1	3か月ぶりプラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>0.9</b>	<b>0.3</b>	<b>18か月ぶりプラス</b>
北海道	-6.5	0.0	7か月連続マイナス*
東北	-2.9	0.0	18か月連続マイナス*
関東	0.1	0.0	23か月ぶりプラス
中部	0.6	0.0	14か月ぶりプラス
近畿	-5.6	-0.2	2か月連続マイナス
中国	0.6	0.0	9か月ぶりプラス*
四国	0.5	0.0	14か月ぶりプラス
九州	12.5	0.5	9か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が5か月連続、身のまわり品が9か月ぶり、食料品が14か月ぶりにプラスとなった。また、衣料品が18か月連続、家庭用品が16か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が25か月連続、菓子が2か月連続、惣菜、その他雑貨が9か月ぶり、子供服・洋品が12か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が14か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.7</b>	<b>—</b>	<b>14か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	-0.7	0.0	9か月連続マイナス
婦人服・洋品	-1.7	-0.4	18か月連続マイナス
子供服・洋品	1.6	0.1	12か月ぶりプラス
その他衣料品	-2.5	-0.1	18か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-1.2</b>	<b>-0.4</b>	<b>18か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>0.7</b>	<b>0.1</b>	<b>9か月ぶりプラス</b>
化粧品	15.2	1.2	25か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	1.1	0.1	14か月ぶりプラス*
その他雑貨	0.8	0.0	9か月ぶりプラス*
<b>雑貨</b>	<b>7.2</b>	<b>1.3</b>	<b>5か月連続プラス</b>
家具	-1.7	0.0	14か月連続マイナス
家電	-6.7	0.0	5か月連続マイナス
その他家庭用品	-7.3	-0.3	13か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-6.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>16か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-1.9	-0.1	37か月連続マイナス*
菓子	1.6	0.1	2か月連続プラス*
惣菜	1.7	0.1	9か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.2	0.0	2か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>0.4</b>	<b>0.1</b>	<b>14か月ぶりプラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>0.3</b>	<b>0.0</b>	<b>18か月ぶりプラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-0.3</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-1.4</b>	<b>0.0</b>	<b>7か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-5.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>74か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>